

8万人の声を届ける!

胃がん撲滅へー

ピロリ菌対策が大きく前進

石阪丈一市長に8万人の署名を手渡すこいそ都議会議員（左から3人目）と公明党市議団



署名へのご協力、大変にありがとうございました

石阪市長 「がんは日本人全体の課題。積極的ながん対策の象徴として、早急に取り組みたい」

公明党町田総支部（こいそ善彦総支部長）は2月13日、石阪丈一・町田市長に、「新しい胃がん検診の導入を求める要望書」を提出しました。この要望書は、本年1月から開始し、8万人を超える市民の皆さまにご署名をいただいたものです。

要望書・署名を受け取った石阪市長は、「多くの市民の皆さまの署名を重く受け止め、どの自治体よりも先んじてこの問題に取り組みたい」と述べました。石阪市長から前向きな回答を得たことで、「ピロリ菌検査」の無料実施と、「ピロリ菌外来」の設置に向け、大きな前進となりました。

これからも公明党町田総支部は、胃がん撲滅に向けて、全力で取り組んでまいります。

ピロリ菌検査を受けると、 何がどう変わるの？



◆日本人の2人に1人がピロリ菌に感染している！

ピロリ菌は胃がんや胃潰瘍の原因だと、世界保健機関（WHO）は発表しています。

正式名称はヘリコバクター・ピロリといい、胃の中に好んで住みつき、胃の壁を傷つける、毒性の強い細菌で、最近では、ピロリ菌が生むたんぱく質「CagA」の働きによってがん化が進むことが解明されたとの報道もありました（1月13日付「読売新聞」）。しかも日本人の2人に1人がピロリ菌に感染しているという調査結果も。ということは、ピロリ菌の早期発見は、胃がん撲滅の第一歩になるのです。

◆町田市の胃がん検診率はたったの2%！

国際がん研究機関（IARC）は、日本人は特に胃がんの発生率が高いと発表しています。実際に、年間に5万人もの尊い命が胃がんによって奪われているのです。

それなのに町田市では、たったの2%の方しか、胃がん検診を受けていません。そもそも日本では胃がん検診の項目に、バリウム検査や内視鏡検査はあっても、ピロリ菌検査は義務付けられていないのが実情です。

そこで、こいそ善彦は、ピロリ菌検査の無料実施を主張しました。ちなみに、ピロリ菌検査は、どこの病院でも簡単な血液検査で行うことができ、費用はおおよそ5,000円～10,000円。こいそ善彦は、胃がん検診の受診率を上げるためには、無料検査の実施が最適と考えたのです。

部位別がん罹患数(2005年)

胃	117,137
肺	83,881
結腸	68,195
乳	50,695
前立腺	42,997
直腸	36,539
その他	276,631

◆「ピロリ菌無料検査」と「ピロリ菌外来」がセットで実現すれば安心は倍増！

ピロリ菌検査を受け、ピロリ菌の存在が分かれば、すぐにでも除菌したいものです。そこでこいそ善彦は、ピロリ菌の除菌を専門に行う「ピロリ菌外来」を町田市民病院に創設することも同時に訴えました。「ピロリ菌外来」が開設されれば、こいそ善彦が推進する「ピロリ菌ゼロ大作戦」は、いよいよ現実のものとなります！ すみやかに実施できるよう、引き続き石阪市長に強く働きかけてまいります。